

2022年3月期 第3四半期

決算説明資料

株式会社ナガワ (証券コード : 9663)

2022.1.24

2022年3月期 第3四半期 連結決算概況 (2021/4/1 ~ 2021/12/31)

B/S	4
P/L	5
要素別売上高増減	6
四半期ごとの売上高推移	7
セグメント別	8
ユニットハウス事業	9
モジュール・システム建築事業	10
建設機械レンタル事業	11
設備投資額と減価償却額	12

2022年3月期 業績見通し (2021/4/1 ~ 2022/3/31)

業績見通し	14
累計進捗率	15
セグメント別	16
免責事項	17

2022年3月期第3四半期

連結決算概況

連結決算概況—B/S

	FY2020 Q3	FY2021 Q3	FY2022 Q3	YoY	
	19年4-12月	20年4-12月	21年4-12月	増減	増減率
※単位：百万円					
流動資産	23,145	23,508	22,502	△1,006	△4.3%
貸与資産	8,114	8,643	9,740	1,097	12.7%
固定資産	24,242	27,080	32,202	5,121	18.9%
総資産	47,388	50,589	54,704	4,115	8.1%
流動負債	3,357	3,627	3,674	46	1.3%
純資産	43,902	46,820	50,212	3,391	7.2%
自己資本比率 (%)	92.6%	92.6%	91.8%	△0.8pt	-
1株当たり純資産 (円)	2,839.18	3,005.49	3,200.17	194.68	6.5%

連結決算概況－P/L

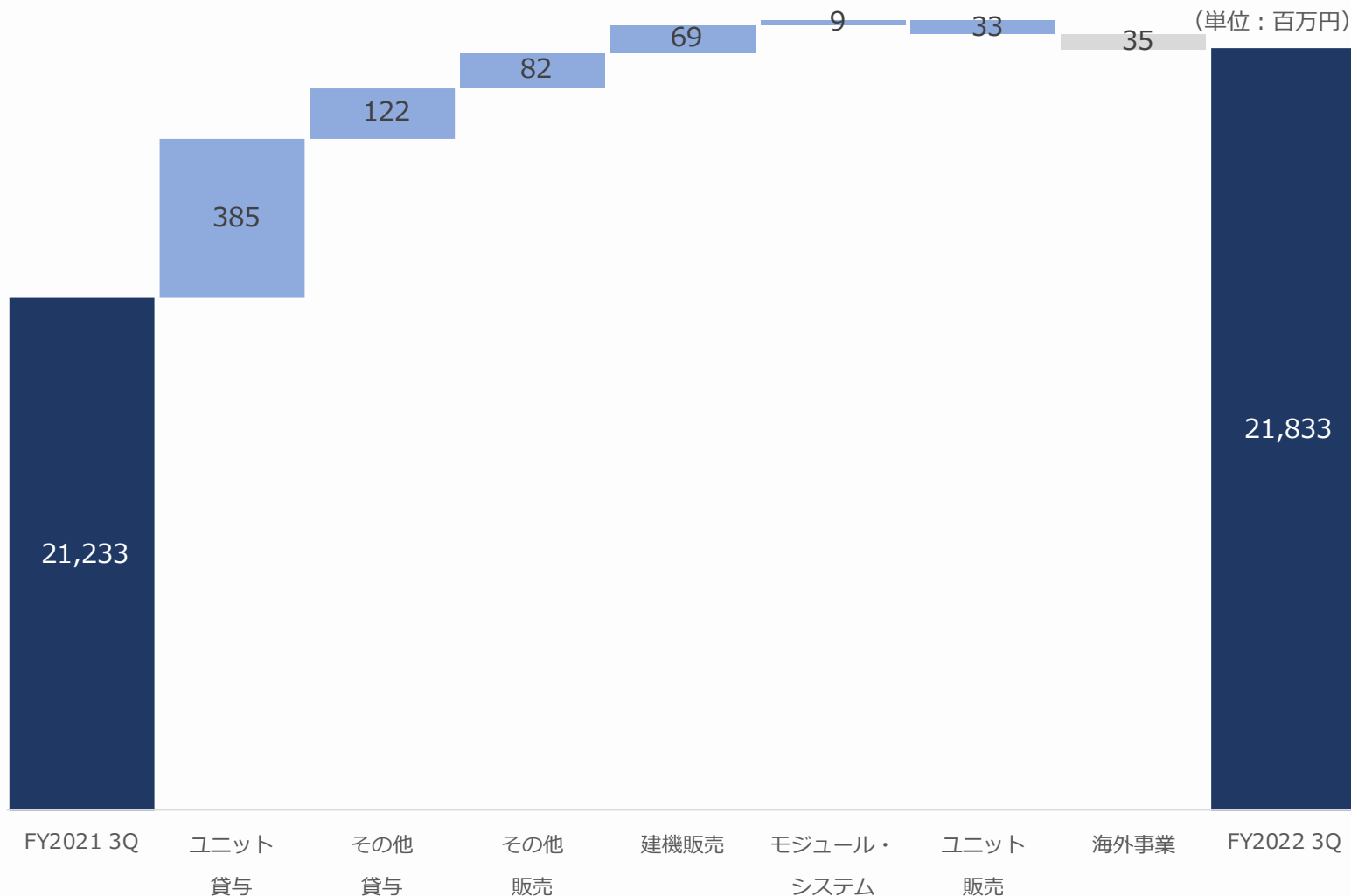
	FY2020 Q3	FY2021 Q3	FY2022 Q3	YonY	
	19年4-12月	20年4-12月	21年4-12月	増減	増減率
売上高	21,128	21,233	21,833	600	2.8%
販売収入	10,674	10,489	10,582	93	0.9%
レンタル収入	10,454	10,743	11,250	506	4.7%
売上総利益	8,152	8,967	9,222	254	2.8%
営業利益	2,576	3,222	3,243	20	0.6%
経常利益	2,760	3,462	3,458	△3	△0.1%
当期純利益（※）	1,756	2,314	2,206	△107	△4.7%

※当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益を示す。

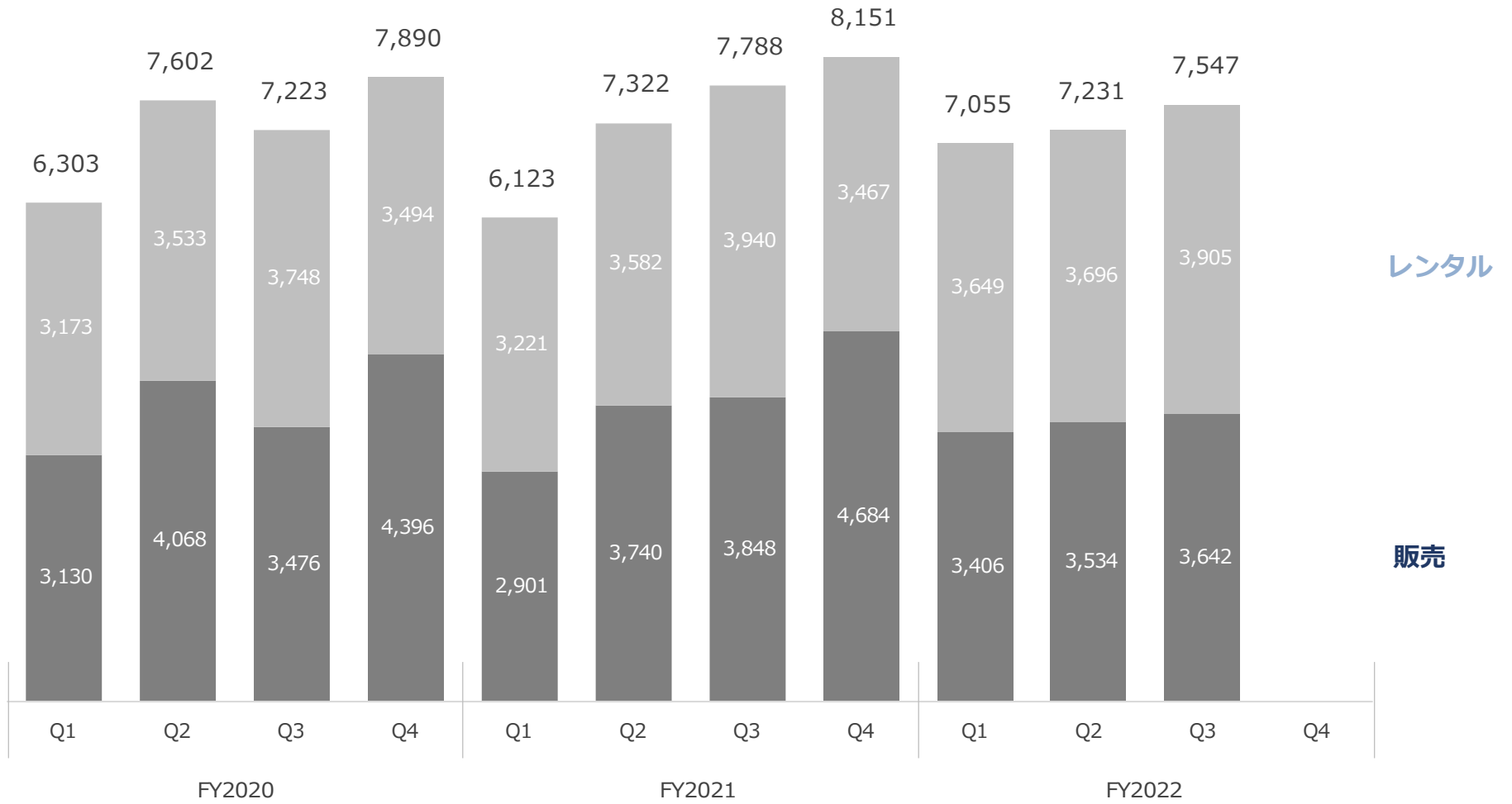
連結決算概況—要素別売上高増減

当連結会計年度における経済環境は、期初からの新型コロナウイルス感染症の拡大が収束し、緊急事態宣言等の解除から経済活動の再開が順次行われてきたものの、変異株であるオミクロン株が流行の兆しをみせており、不透明感が否めない状況にあります。

そのような環境の中、当社グループでは2021年11月より導入した3D見積システムによるVR効果を高めた提案営業を実施しており、ユニットハウス事業およびモジュール・システム建築事業における受注機会の大幅な増加を見込んでおります。



連結決算概況一四半期ごとの売上高推移



連結決算概況－セグメント別

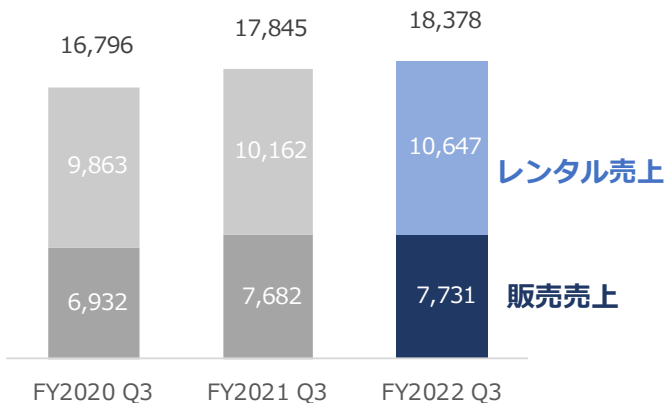
	FY2020 Q3 19年4-12月	FY2021 Q3 20年4-12月	FY2022 Q3 21年4-12月	YoY	
※単位：百万円				増減	増減率
売上高合計	21,128	21,233	21,833	600	2.8%
ユニットハウス事業	16,796	17,845	18,378	533	3.0%
モジュール・システム建築事業	3,385	2,662	2,637	△24	△0.9%
建設機械レンタル事業	946	725	816	91	12.6%
営業利益合計	2,576	3,222	3,243	20	0.6%
ユニットハウス事業	2,370	2,954	2,901	△53	△1.8%
モジュール・システム建築事業	214	271	308	36	13.6%
建設機械レンタル事業	27	30	64	34	114.5%
全社消去	△36	△33	△31	2	-

※全社消去の算定基準を2021年3月期より変更したため、過去の数値を新基準に合わせて変更しています。

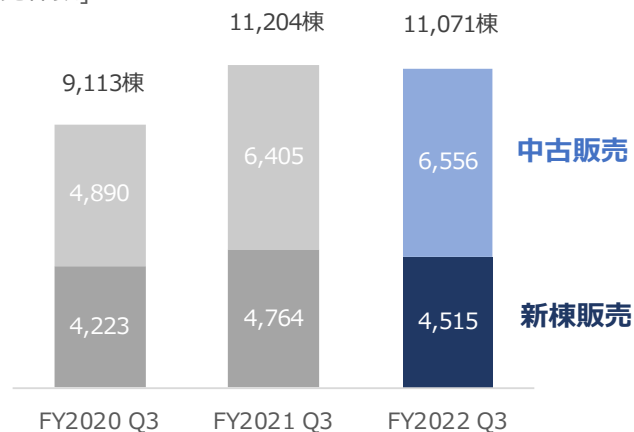
連結決算概況ーユニットハウス事業

ユニットハウス事業は、引き続きコロナ禍における空間確保需要による稼働増加と、建築現場の増加にともなう稼働増加が重なり、レンタル事業が堅調に推移した。第4四半期に向けては、上場30周年記念キャンペーンによる販売増を見込む。

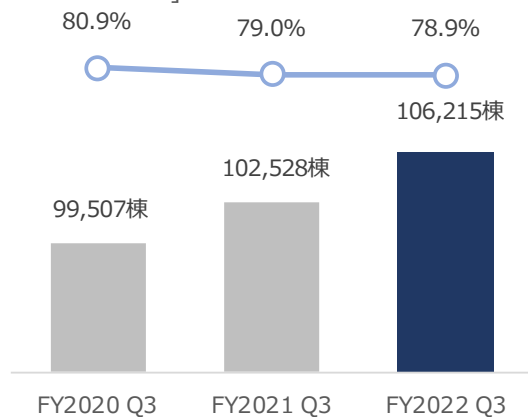
[販売売上とレンタル売上]



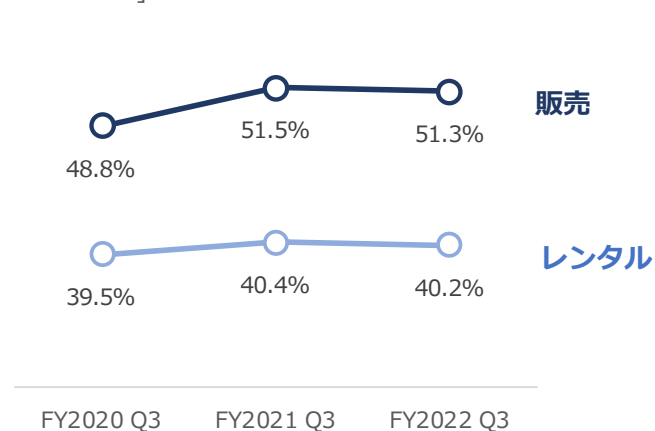
[販売棟数]



[保有棟数と稼働率]



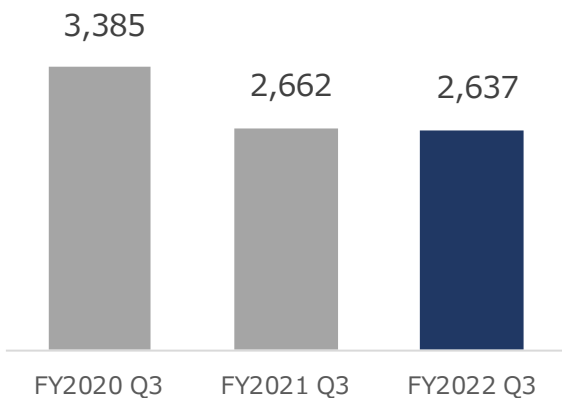
[売上総利益率]



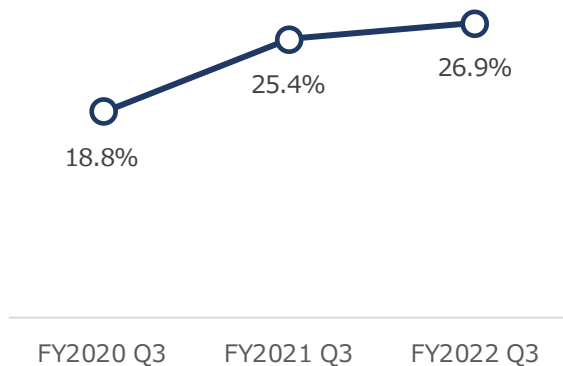
連結決算概況ーモジュール・システム建築事業

モジュール・システム建築事業は回復傾向にあるものの、コロナ禍による完工時期のずれが散見され、第3四半期では前年同水準となっているが、当期寄与の受注残高は前年比で倍増しており、通期実績では前々年度水準の実績を見込んでいる。

[売上高推移]



[売上総利益率]



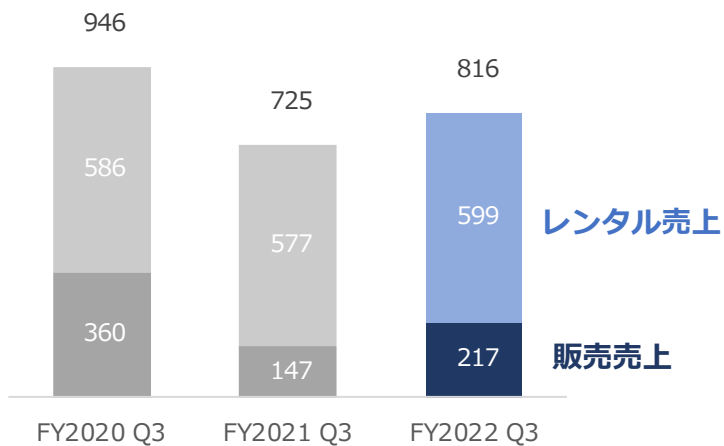
連結決算概況ー建機レンタル事業

北海道地区の建設機械レンタル事業は緩やかながらも販売・レンタルともに回復傾向にあり、通期に向けても前々年度水準以上になる見通しである。

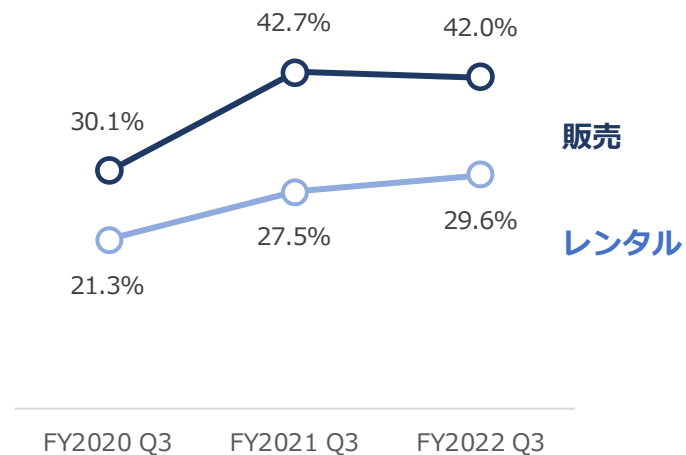
中古建設機械市場の高騰を受けて資産の売却を加速し、最新機種への切替を前倒しで進める。



[販売売上とレンタル売上]



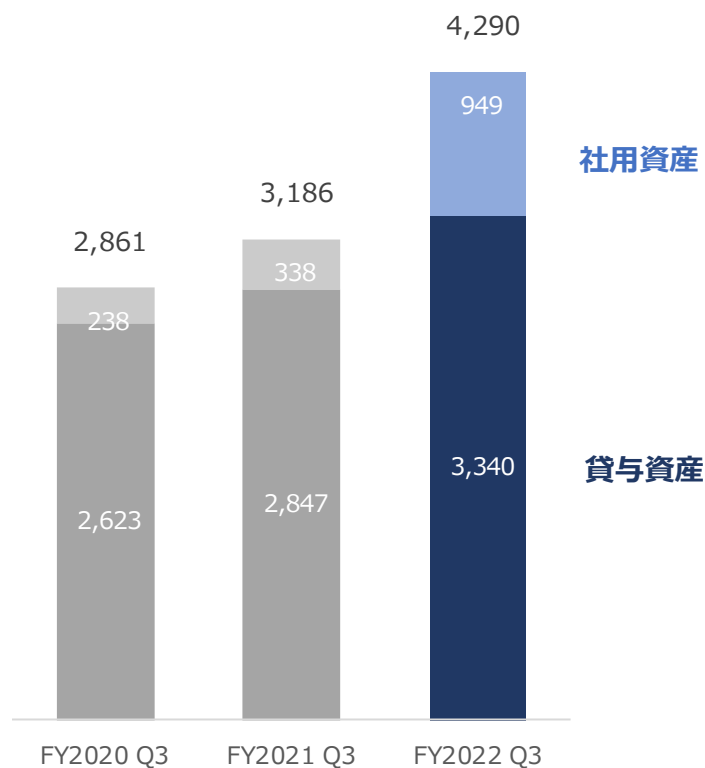
[売上総利益率]



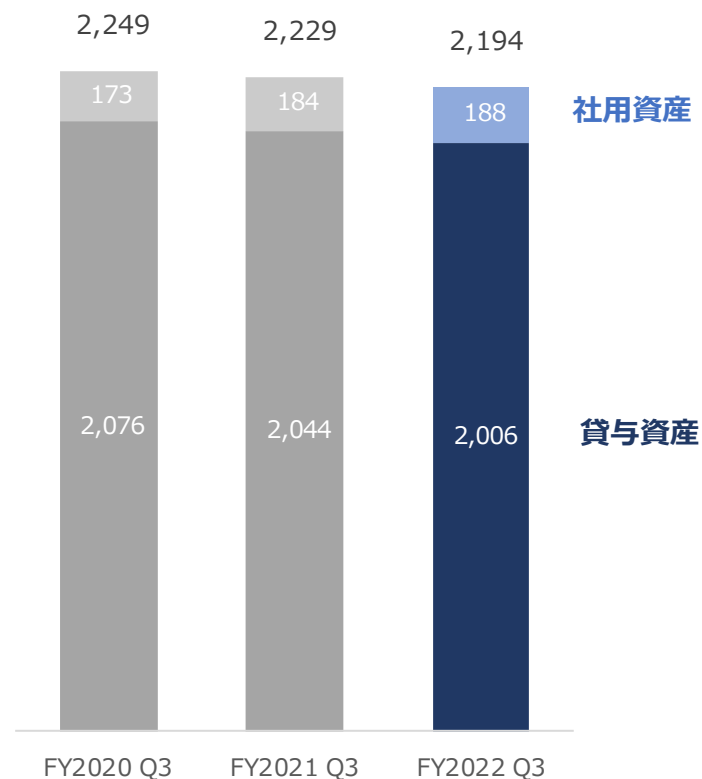
連結決算概況－設備投資額と減価償却額

引き続き好調なレンタル需要に対応するため、全国の工場を稼働率100%で生産継続し、各地区への投入を強化している。
中国四国地区の工場用地取得も完了し、2022年6月の生産開始を見込む。

[設備投資額推移]



[減価償却額推移]



2022年3月期

業績見通し

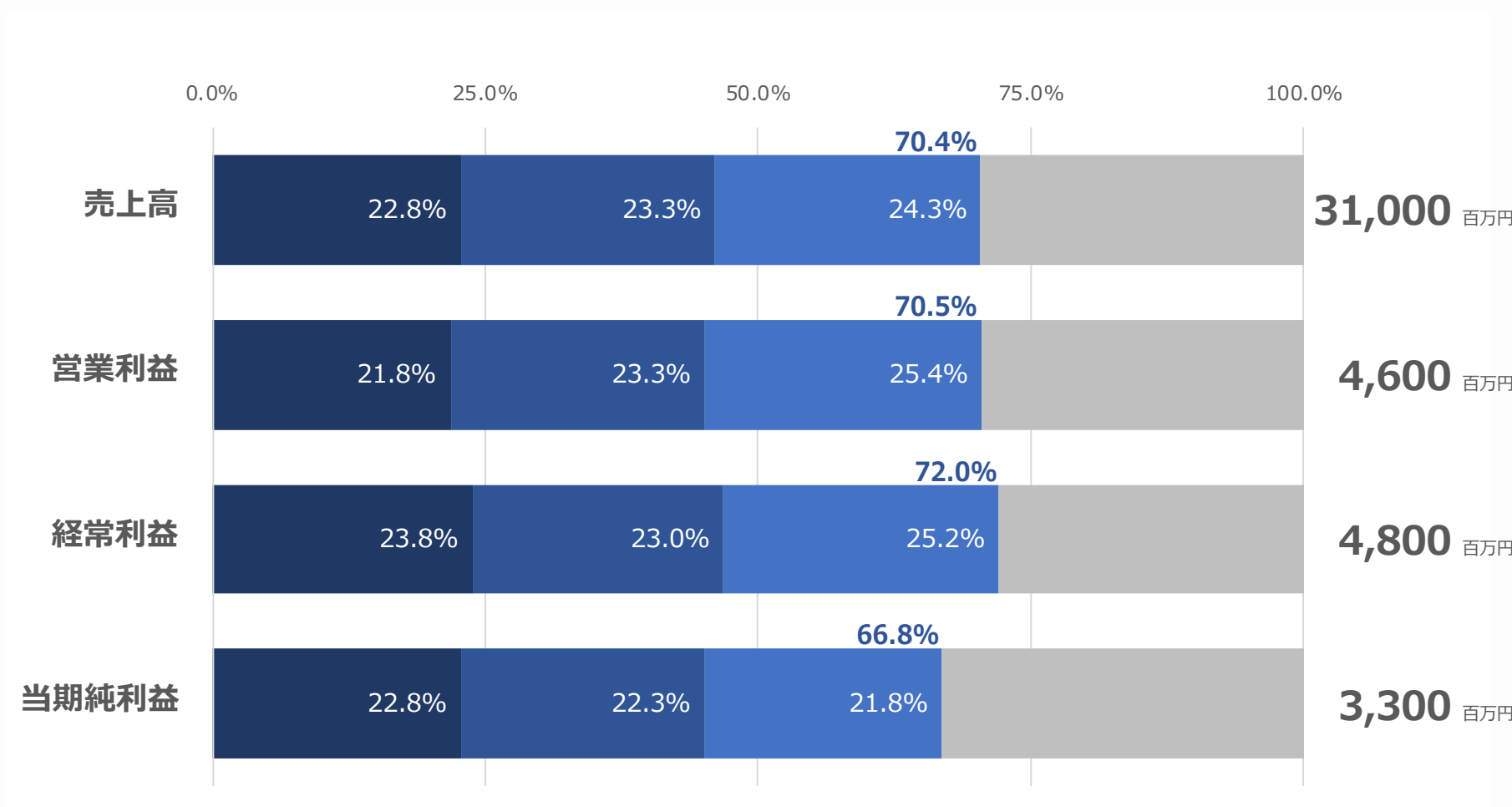
業績見通し

	FY2020	FY2021	FY2022計画	YoY	
	19年4-3月	20年4-3月	21年4-3月	増減	増減率
売上高	29,018	29,384	31,000	1,616	5.5%
営業利益	3,536	4,282	4,600	318	7.4%
経常利益	3,717	4,537	4,800	263	5.8%
当期純利益 (※)	2,105	3,036	3,300	264	8.7%
総資産	49,917	53,409	-	-	-
純資産	44,678	48,072	-	-	-
自己資本比率 (%)	89.5%	90.0%	-	-	-
1株当たり純資産	2,867.61	3,084.71	-	-	-

※単位：百万円

業績見通しー累計進捗率

当初想定していた新型コロナウイルスの影響による建設業界の落ち込み予測に反し、第2四半期までは昨年並みに推移。業績見通しに対する進捗率は、売上高では46.1%、経常利益は46.8%とおおむね50%弱程度の進捗となっています。



業績見通し—セグメント別

	FY2020 19年4-3月	FY2021 20年4-3月	FY2022計画 21年4-3月	YonY 増減 増減率	
※単位：百万円					
売上高合計	29,018	29,384	31,000	1,616	5.5%
ユニットハウス事業	22,826	24,145	24,500	355	1.5%
モジュール・システム建築事業	4,920	4,073	5,300	1,227	30.1%
建設機械レンタル事業	1,272	1,164	1,200	36	3.1%
営業利益合計	3,536	4,282	4,600	318	7.4%
ユニットハウス事業	3,262	3,880	3,900	20	0.5%
モジュール・システム建築事業	329	421	650	229	54.4%
建設機械レンタル事業	△3	49	50	1	2.0%
全社消去	△51	△68	-	-	-

免責事項

この資料は、株式会社ナガワ（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。

当資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料には、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資をおこなう際は投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

※決算短信や、その他の資料は弊社HPにてご確認ください。

株式会社ナガワ | IRライブラリー

<https://group.nagawa.co.jp/ir/library.html>

